

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	消費者問題 2 (Consumer Affairs 2) 393147-14500					担当教員	赤塚 浩一 (アカツカ コウイチ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>最新の情報通信技術(ICT)を利用した製品・サービスは、その実体や潜んでいるリスクを見抜くことが難しい。そのため消費者問題は、被害の未然防止や被害発生の検知・解消が難しい、深刻な問題になってきている。本講義では複雑化・深刻化する消費者問題を、ICTを利用したハイリスクな製品・サービスの具体的事例を交えて、背景となる ICT の概要と共に学ぶ。</p> <p>本講義は消費者力検定、消費生活相談員資格試験、消費生活アドバイザー試験に対応する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
次回講義内容を記載した資料を、遅くとも前回講義時までに配付する。次回講義内容に関連した消費者問題、発生している事件・事故の情報を、講義時までに、インターネット等を活用して事前に収集すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「消費者問題1」を履修していることが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) ICT の最新キーワードに惑わされずに、製品・サービスの実体とリスクを見抜ける「賢い消費者」になる。									
(ii) 未来の起業家・企業人として、「故意や過失による加害者」にならない。									
⑥ テキスト（教科書）									
テキストは指定しない。 各回、レジュメを配付する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
消費者白書 令和2年版（消費者庁ホームページから無償でダウンロード可能）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 製品・サービスの実体とリスクを見抜ける	30%		10%			15%		55%
(ii) 故意や過失による加害者にならない	20%		10%			15%		45%
フィードバックの方法	課題取組結果に対するフィードバックは、講義の場での発表と質疑応答で行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
次回講義内容を記載した資料を、遅くとも前回講義時までに配付する。授業中は板書内容の転記ではなく、講義内容の理解に集中して頂きたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション（With コロナ社会とデジタル化）	配付資料	With コロナ社会におけるデジタル化動向を調査し理解する。	60分
2	最新 ICT 概説 1（デジタルトランスフォーメーション）	配付資料	デジタルトランスフォーメーションの動向を調査し理解する。	60分
3	最新 ICT 概説 2（IoT/AI/RPA/xR、ビッグデータ、自動運転）	配付資料	講義で説明した ICT の概要を調査し理解する。	60分
4	消費者と情報セキュリティ（情報セキュリティ 10 大脅威）	配付資料	情報セキュリティ事故・事件の動向を調査し理解する。	60分
5	消費者と情報セキュリティ（事件・事故発生の三要件）	配付資料	情報セキュリティ事故・事件事例を調査し原因を分析する。	60分
6	消費者と個人情報保護（個人情報保護法）	配付資料	個人情報流出事故・事件の動向を調査し理解する。	60分
7	消費者と個人情報保護（個人情報の活用法）	配付資料	個人情報流出事故・事件事例を調査し原因を分析する。	60分
8	消費者と知的財産権（特許権、商標権、営業秘密）	配付資料	講義で説明した知的財産権の概要を調査し理解する。	60分
9	消費者と知的財産権（著作権、肖像権、パブリシティ権）	配付資料	講義で説明した知的財産権の概要を調査し理解する。	60分

10	消費者と品質問題 (品質・コスト・納期)	配付資料	品質問題の発生動向を調査し理解する。	60分
11	消費者と品質問題 (見える品質/見えない品質)	配付資料	品質問題事例を調査し原因を分析する。	60分
12	消費者と依存症 (物質・行為・関係への依存)	配付資料	依存症の動向を調査し理解する。	60分
13	消費者と依存症 (ひきこもり・こもりびと)	配付資料	依存症事例を調査し原因を分析する。	60分
14	消費者とビジネスモデル (新たな消費者問題の発生)	配付資料	With コロナ時代の新たなビジネスモデルを調査し理解する。	60分
15	課題個人ワーク、情報共有、フィードバック	配付資料	共有・フィードバック内容を個人ワーク結果へ反映する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。事前調査情報に基づいて各自で課題への取組を行い、講義の場での発表と質疑応答を通したフィードバックにより、知識の定着・確認を図る。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
I C T企業に勤務し、経営計画・事業計画の策定、インターネットを前提にした新規ビジネスモデルの構築・運用等を担当した。新ビジネス推進に欠かせない民法・個人情報保護法・知的財産権法等の法規制、マネジメントシステム、情報セキュリティ等の関連業務も並行して担当した。 また中小企業診断士・技術士として、県内外の中小企業の経営課題・技術課題の解決を支援してきた。				
実務経験と授業科目との関連性				
デジタルトランスフォーメーション時代の、インターネットを前提にした新たなビジネスモデルの、企画・構築から運営までの全プロセスを知る者として、AI/IoT/RPA、仮想通貨、ビッグデータ等の I C Tキーワードの本質、ビジネスでの利用等を、消費者への影響という視点で説明することができる。				